

ゆっくりのんびり

第9号 2022年 1月 発行者：乾 哲郎

ユイ：昨日、お母さんに叱られちゃった。

レイ：また何か変なことしたんでしょ。ピラニアを飼ってる水槽にフグを入れたら、ピラニアがフグを食べちゃって、その毒でピラニアも死んじゃったとか。(筆者注：僕の友達がホントにやったことです)

ユイ：よくそんなわけわかんないこと考えつくね。そんなんじゃないよ。

レイ：じゃあ、飼っていたサソリが逃げちゃって近所中大騒ぎになったとか。(筆者注：これも、同じ友達が実際にやっちゃったことです)

ユイ：サソリなんて飼ってないよ。あのね、ひとつはね、

レイ：ひとつだけじゃないんだ。

ユイ：いちいちつまらないでいいから。ひとつは、「あんたの部屋、散らかりすぎ。片付けな」と全部捨てちゃうよ！」って。頭に來ちゃった。

レイ：私はお母さんの見解に賛成。で、ふたつめは？

ユイ：友だちと遊びに行く約束してお母さんに街まで送ってってもらうことになってたんだけど、出かける前にシャワー浴びたりしてお母さんに頼んでた時間過ぎちゃったんだよね。「お母さんだって忙しいんだから！早くしないと、送ってってやらないよ！」って。

レイ：これも、お母さんが正しい。で、また頭に來た？

ユイ：ううん、この時は、「あ、悪かったな」って思った。

テツ：同じようにユイが悪くてお母さんに叱られても、ひとつめは頭に來て、ふたつめは「悪かったな」って思ったわけだね。どうしてだろう？

ユイ：ワッ！何かわいてきた！

テツ：人をウジ虫のように言わないでください！

レイ：ウジ虫というよりダンゴムシかな。色からすると。

ユイ：レイ、うまい！

テツ：それぐらいにしといてくれるかな。立ち直れなくなりそうだから。

ユイ：そうだね。で、今日はどういう話なの？

テツ：上の二つのことのように、人から注意されたり忠告されたりしたときに、「あ、そうだな」とか「まずかったな」って思うときと、「うるさいなあ、ほっといて！」と思うときがあるよね。その違いはどこにあるのか、って話。どういうときに人の言うことを素直に聞けて、どういうときに受け入れられないか。次のようなことが言われているんだ。

- ① 「そのことは自分の自由だ、人に言われることじゃない」と思っているかどうか。
- ② 一般的にいけないことだったり、自分でも「まずいことだな」と思っているかどうか。
- ③ 自分にとってすごく大きなことか、それとも、それほどたいしたことじゃないか。
- ④ 制限される範囲が広いのか狭いか。(例：「卒業までゲーム禁止」と「1週間禁止」)

ユイ：ふ〜ん、なるほどね。さっきのユイの話だと、①で言うと、部屋のことは「自分の自由」だけど、送ってもらうのはお母さんの時間を使うから「自分の自由じゃない」ってことかな。

レイ：②で考えると、ユイは部屋が散らかってるのは別に悪いことだと思ってないけど、約束をいい加減にするのはまずいと思ってる。

テツ：そんな感じだね。注意する側としては、この辺をうまくやると、あまり反発されないでうまくいくのかもしれないね。



先生方の将棋大会があり、ベスト4が出そろいました。この4人がトーナメントで優勝を争いました。4人は、国語、社会、数学、理科の先生が一人ずつ、年令では20代、30代、40代、50代が一人ずつ、また、所属学年は1年、2年、3年、学年外が一人ずつでした。

次の7つのヒントから、教科、年代、所属学年を正しく組み合わせてください。

- ① 国語の先生が優勝した。
- ② 40代の先生は、準決勝で2年の先生に負けた。
- ③ 理科の先生は、学年外の先生に勝った。
- ④ 50代の先生は、決勝で負けた。
- ⑤ 理科の先生は、1年の先生とは対戦しなかった。
- ⑥ 準決勝で社会の先生に勝った先生が優勝した。
- ⑦ 国語の先生は20代の先生とは対戦しなかった。



TEN	英語で足し算を作りました。
TEN	$10 + 10 + 40 = 60$
+ FORTY	と正しい式になっていますね。
SIXTY	この足し算、10種類の文字で
	できているのですが、ひとつ

ひとつのアルファベットに0～9の10種類の数字をうまく対応させると、正しい計算式になります。違う文字には違う数字が対応します。できるかな？

A、B、C、D、Eの5人が何やら言いあっています。実は、この内の3人は、ウソをついたり本当のことを言ったりするのですが、残りの2人は絶対にウソをつきません。

2人の正直者は誰でしょう？

Aさん：Cさんはうそつきです。
 Bさん：Aさんはうそつきです。
 Cさん：Dさんはうそつきです。
 Dさん：Aさんはうそつきです。
 Bさんもうそつきです。
 Eさん：Bさんはうそつきではありません。
 Dさんもうそつきではありません。

A、B、Cの3つの選択肢から正解を選ぶ問題が3問あります。蛭原君、小林君、高橋君の3人の答えと得点は次の表のとおりでした。

	第1問	第2問	第3問	得点
蛭原君	A	B	B	1点
小林君	B	C	B	1点
高橋君	C	C	A	0点

各問の正解は何でしょう？

<前号の答え>

【牧場の牛】

1ヘクタール当たりの最初の草の量をb、1ヘクタールで1週間に育つ草の量をaとすると、k週間後の1ヘクタール当たりの草の量は、 $ak+b$ となりますね。4週間後は、 $4a+b$ 、9週間後は、 $9a+b$ 、18週間後は、 $18a+b$ ですね。各牧場の食べつくすまでの期間、広さ、食べた草の量、牛の頭数を表にすると、このようになります。

A牧場では、12頭の牛が4週間で、 $5(4a+b)$ の量の草を、B牧場では、21頭の牛が9週間で、 $15(9a+b)$ の量の草を食べたことになります。なので、

$$\frac{5(4a+b)}{12 \times 4} = \frac{15(9a+b)}{21 \times 9}$$

	期間	広さ	草の量	牛
A	4週間	5ヘクタール	$5(4a+b)$	12頭
B	9週間	15ヘクタール	$15(9a+b)$	21頭
C	18週間	36ヘクタール	$36(18a+b)$	x頭

という式が成り立ちます。この式から、 $b=12a$ という関係式ができます。これを、上の式の左辺（右辺でも同じ）に代入すると、 $\frac{5}{3}a$ となりますが、これが、1頭の牛が1週間で食べる草の量です。C牧場の草の量は $1080a$ となるので、それを、 $\frac{5}{3}a \times 18$ （週間）で割ると、牛の頭数が出てきます。答えは、36頭です。

【 $a^2-b^2-c^2=a-b-c$ 】

(a, b, c) = (7, 6, 4), (9, 7, 6)

【うそつきクラブ】 5人

みんな別の答えなので、正解は一人。

【はかりの問題】

答えは、①重くなる です。手をつけると、水から手に浮力がかかるので、その反作用で、手は水を下に押していることになりま。その分、はかりは大きな力を受けます。